

堀之内バイパス開通

12月26日、表郷地域の県道社田浅川線堀之内バイパスの開通式が行われ、待望の開通を祝いました。

バイパスの長さは、堀之内地内から山ノ神地内までの約480m、道幅は、歩道も含め約10mあります。式では、地元の方々や堀之内子ども会の子どもたちが開通区間でパレードを行い、開通を喜び合っていました。



アイデアで産業を活性化

しらかわ地域の特産品や資源を活用した「ビジネスアイデアコンテスト2010」の受賞者が決定しました。最優秀賞には、菅原美穂さん（埼玉県朝霞市）の「地元で生きる」、優秀賞には、有我瑠美子さん（東京都八王子市）と緑川由加さん（影鬼越）、特別賞には、グループ代表者伊藤知美さん（埼玉県草加市）と佐川愛さん（板橋）が選ばれました。



宝くじの助成で地域を活性化

市では、南湖ニュータウン防災会（若狭清会長）に対して、（財）自治総合センターのコミュニティ（宝くじ）助成事業を活用し、防災活動に必要な各種機材を交付しました。

南湖ニュータウン防災会では、日々、地域防災活動に取り組んでおり、万が一の災害時や訓練に使用するなど、交付された機材を有効に活用していきます。



▲ 齋藤会長（中央）

市農商工連携促進事業で新商品開発

12月17日、市農商工連携促進事業の補助金交付を受けて新商品を開発した入方農事研究会（齋藤孝郎会長）が、完成報告に市役所を訪れました。

商品は、市内入方地区の畑で栽培された大豆を使った豆菓子「まめっ娘」で、上白糖、三温糖、黒糖の3種類の砂糖をまぶしています。このまめっ娘は、「り菜あん」等で販売しています。

まち Topics

トピックス



◀ 協定の締結後に握手を交わす酒井和夫社長（中央）、鈴木市長、佐藤知事

▼ 立地基本締結式の様子



三菱ガス化学と工場立地の基本協定を締結

1月21日、三菱ガス化学株式会社（東京都、酒井和夫社長）が「工業の森・新白河」B工区（豊地地内）に進出することを決定し、知事公館にて市及び県と工場立地基本協定締結式が行われました。鈴木市長は席上、「研究開発型の重要な拠点として当市が選ばれた。核となる技術を国内に残す企業の進出であり、今後の企業誘致のモデルケースになる。雇用効果も大きく、名実ともに素晴らしい企業の立地で歓迎したい」と話しました。

同社は、創業93年目の大変歴史のある会社で、現在、資本金は400億円を超え、従業員数も連結で約5千人を有する東証一部上場の総合化学メーカーです。事業内容は、様々な用途の合成樹脂や食品等の酸化劣化を防ぐ脱酸素剤の製造など幅広く、特に半導体パッケージ用樹脂や脱酸素剤などの分野では、他の追随を許さない先駆的な技術をもつ、研究開発型の企業でもあります。



■ 完成予想図

分譲予定面積は約32ha。製造だけでなく、研究開発機能を持つ「先端材料加工事業」の拠点となる。

当市では半導体の集積回路を載せるパッケージ樹脂の製造工場を建設予定です。また、製造だけでなく研究開発機能をもつ工場となり、「先端材料加工事業」拠点へと発展が期待されます。

今回の分譲予定面積は、約32haであり、平成23年度から県企業局が造成工事に着手し、平成25年度後半には引き渡しを行う予定であり、県内でも近年にない大規模な工場立地となります。順調に事業計画が進めば、雇用も将来は1,000人を超える規模になり、本市の発展に大きく寄与するものであります。